

ゴ ク ロー サン
5 9 6 3

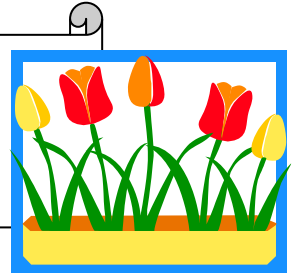
ハート通信

VOL. 35

竹原運輸株式会社

発行日 平成 22 年 5 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

「安全第一を考える会社になる」

このフレーズは10年前から弊社全社員の合言葉になっています。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）というのがありますが、それも毎日やることで小さな変化や違いに気づくことが、大きな事故や災害を防ぐことにつながります。ハインリッヒの法則（1：29：300）です。

会社はそれを取り締まるのではなく、どうしたら小さな事故が減るかを、みんなで考えて仕組みにすることが大事だと思います。目的は安全でいい会社を創ること。

「経営の神は細部に宿る」と言われています。人間のちょっとした癖やしぐさ、無意識の行動は隠せないものです。実はそこに改善のヒントが隠されているような気がします。

本人もあまり意識していない悪い癖を見つけ、修正していくことが、1の重大事故を防ぐことにつながります。

あともう一点は、人間としての精神的な成長も不可欠です。安全は技術的な問題よりも、むしろ精神的な問題の方が比重は大きいと思います。人間のことがわかり、人のことを思いやる心。そういう人間にならないと事故は減りません。

難しい課題で、終わりのない旅ですが、あきらめずこれからも取り組んでいきます。

竹原和行

◆事務所スタッフからのハートの一言◆

過日、4月25日（日曜日）、弊社の全体安全会議を全社員参加のもと開催致しました。その中で「高速道路安全セミナー」をNEXCO 中日本様に依頼致しました。前の道路公団ですね。このセミナーは「いつでも・どこでも・無料で」のキャッチフレーズで2万人の方が既に受講されているようで、大好評だそうです。当日は名古屋から講師の方がお見えになられ正に「どこでもお伺いいたします」でした。内容はふんだんに動画、写真を交えながら臨場感溢れるセミナーで、日頃は見られない実際の事故現場を見ることが出来ました。と申しましても目を背けるような映像はなく、適度に注意を喚起出来るもので質の高いセミナーでした。

高速道路走行でやはり大事な事は、走行車線を走行することだと改めて再認識した次第です。たとえば、滅多とない高速道路での逆走車ですが大概是追越車線を走行するそうです。何故なら逆走車のキープレフト（左車線）は追越車線だからです。なるほどと思いました。又、やはり追越車線上の事故の方が走行車線より多いそうです。特に後ろからの追突事故は走行車線の方が路肩に回避出来る可能性が高く被害が少なくすむ傾向だそうです。

いずれに致しましても道路の特性をよく認識し未然に事故を防衛することが肝要です。

社長 竹原正和

《意識の変革》

変化の激しい経済情勢を背景に多くの運送事業者が変革を迫られていると思います。当社に於いても毎日の朝礼で、社長より「変革を担う人材になれ」と耳にタコが出来くらい常に言われ続けています。

我々は、労働集約型の典型とも言われていますが、我々業界では人材こそが重要な経営の資源であると考えております。常に乗務員一人一人の車輛の運行によって支えられていると言っても相違ないと思っております。

その乗務員が、現場での意識を少しでも変えてもらえれば大きく当社のイメージ、企業価値が高まって来ます。その中で、今年度の乗務員に対する教育計画が詳細にわたり、具体的にスケジュール化され提出されています。

今年度の教育方針を層別すると、「安全第一」「環境面での社会への貢献」「安全を常に考える人材の育成」の3本柱であります。乗務員は、直接お客様と接する立場であり、様々な判断を迫られることが多くあります。それに十分に対応出来る人材の教育を粘り強く実行していき、当社の乗務員一人一人までに徹底させて意識改革を行って、現場と部門長とで一丸となって目標に立ち向かって行こうと思っておりますので、竹原運輸に宜しく応援を頂きたくお願い申し上げます。

橋本 勝

《部門長》(PART①)

我々運送事業は、「人」が中心であります。どんなに技術革新が進んでも20年～30年では無人のトラックが走行するとは思えない。ハンドルを握る人が必ず存在するはずで。

職場のリーダーとして、無事故運行の実現に向けて苦闘し、お客様よりお預かりした大切な商品を相違なく人と車を効率良く動かして行く人材が、当社で言う部門長の重要な仕事の一つです。

当社は、5部門の中で3部門(5名)が車輛の動き、人の動きを管理、チェックしている司令塔です。部門長は、働く人の心をつかむ“人”でなければなりませんし、乗務員からの信頼もなければ人望も高くなければなりません。部門長の厚い信頼の根底にあるものは、まず現場、車輛をよく知り尽くしているということです。

当然のこと当社の部門長は、全員が運行管理者の資格を持ち、全日本トラック協会から認定された物流経営士の資格(2名取得)、物流専門講座(1名取得)を受講した3名が軸となった物流についてはプロの集団であります。「口で説明するよりまず当社の輸送の品質を見て下さい」と、お客様に対して物流の提案等も行っています。

もう一つ大きな仕事があります。

彼らは、戻って来る乗務員の様子を真先に見ています。1日の仕事を終え無事、無事故で頑張ってきた「ありがとう」「ごくろうさん」命をかけて、私の配車表に従って働いて来てくれた同僚や若手の乗務員にさりげなく、ねぎらいの言葉を発しています。

常に心掛けていることは、電話を前にして笑とにこやかに前向きにと、冗談を飛ばして明るい職場になるよう心を砕き、辛いことがあっても沈んだ顔をしたりせず明るく振舞っています。

この様な部門長が当社には5部門5名が懸命にお客様からお預かりした大切な商品を無事に目的地に到着する様に頑張っております。

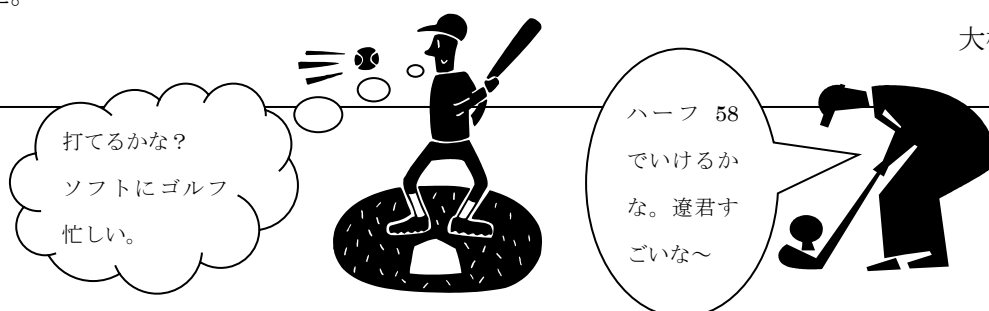
これからも竹原運輸を宜しく応援頂きますようお願い申し上げます。

斉藤 洋一

爽やかな季節となりましたが、皆様お元気でしょうか？ いつも有難うございます。

爺は引越繁忙期も無事に乗り越えて日々の業務に頑張っております。さて毎年この月のハート通信はゴールデンウィークの話になってしまいますが、今年のGW期間中は全国的に好天に恵まれ、爺もソフトボールとゴルフ、観光で休みを満喫しリフレッシュすることができました。観光では京都の渡月橋とお寺を回り日本庭園を散策してきたのですが、帰ってからうれしそうに娘に『すごく良かったよ』と報告すると、連休もずっと仕事の彼女が『あんたはいいの！』の重たい一言、一瞬しまった！と思いながらも、『仕事したくても仕事の無い人がたくさんいる中、仕事にいけることを感謝しないとね』と切り返しましたが、言った私が、仕事があるから生活ができ、休みを楽しみにいられることを再認識した次第です。感謝する心は、日々の生活や仕事の中で忘れがちになりますが日々感謝の心を忘れないよう心に誓った、【重たい一言】事件でした。

大橋 哲夫



初夏を思わせるような陽気に誘われて外出すれば強風と一変する寒暖の差に驚くばかりの日々が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

一年に一度の地元の祭りがもうすぐで心うきうき楽しみに過ごしております私です。「三国祭り」は毎年5月19日、20日、21日と開催され20日の中日には呼び物の武者人形山車や三国神社のお神輿が旧町内を練り歩き湊町三国はお祭りムード一色に染まります。

県内外からも多くの見物客が旧三国町にお越しになられます。露天が並ぶ狭い道を大きな山車がスレスレで通り抜け、「面舵いっぱい、取舵いっぱい」と言った掛け声と地元の小学生達の「エイヤー、アイヤー」の掛け声とお囃子が町中に響き合います。山車は毎年6基。各旧町内から順番で選出されます。「山車番（やまばん）」と呼ばれ早い区では3年周期、長い区だと8年に一度という区もあります。「他の区には負けないぞ」という意気込みが曳き手や囃子手、舵手から伝わり勇壮ぶりが窺えます。

私は今年も舟神輿に参加する予定です。御神輿は2基繰り出し湊町三国の男衆の心粋をご披露いたします。「ワッショイワッショイ」拍子木と綱持ち、担ぎ手が一つになる瞬間は圧巻で感動を覚えます。

夕方になり薄暗くなるころには各町内の若衆が「高張り」と呼ばれる背の高い提灯を持って次々と三国駅付近に集い山車、御神輿を向かえに来ます。夕闇に浮かぶ無数の高張りの灯りとほんのり照らされた山車や御神輿は昼の顔とは一変し、とても幻想的な姿が窺えます。

小さい頃からの憧れの舞台に今年も立てそうです。「祭りの日だけは・・・」という私に理解を頂ける会社の上司、仲間、家族に感謝しております。

心から「ありがとうございます」。

池上 則和

今年も暴れるぞ!!



いつもお世話になりありがとうございます。

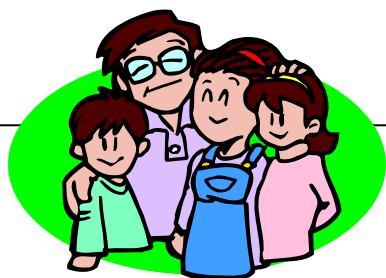
4月25日に安全全体会議を行いました。安全第一を考える為には全員で情報を共有し、考え方を学び、より良い判断が出来るようにし、事故を無くしたいと強く思いました。

話は変わりますが、今年3月から我家も犬を飼う事になりました。子供3人が協力して世話をする約束でしたが、一番上のお姉ちゃんが頑張ってしまう、下2人が遊ぶだけという関係が出来つつあります。

何とか3人協力させたいと目を光らせているのですが、私が見ている時だけ世話をしているらしいです。「子供は、親の言う事をするのではなく、親のする事をする」この言葉が心に重くのしかかります。簡単で安くてすぐ手に入る、かっこ良い背中をネットで探すか、ドラえもんを開発するか迷っています。

辻川 伸吾

僕が、辻川家の
アイドル。



〈点検なくして安全なし〉

車は、ガソリンさえ入れれば走るものと皆様思っているのではないのでしょうか？
例えば、タイヤの低空気圧による事故が増えています。せめてタイヤの空気圧とバッテリーの液だけでもチェックするよう呼掛けていますが、ユーザーの皆様は車検まで何もしないという方が増えています。

整備離れが進むユーザーをどう引き戻すか。車を毎日仕事に使っている人にしてみれば、ほんの一日でも車なしの生活は出来ないと思いますが、本当に車は生活の足代わりとして大事に使って頂きたいと思います。

話は変わりますが、高速道路で目的地まで行くのに走行車線と追越車線ではどちらの道路が先に着けると思いますか？追越車線の方が早いと思いませんか。やってみると走行車線の方が早く着けるという事になっていますので、一度ぜひ試して下さい。

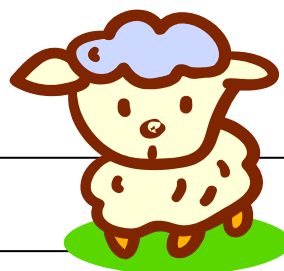
マイカーの点検は、欠かない様に愛車をいつまでも大切に乘って下さい。

竹原運輸整備工場 吉川文雄

ゴールデンウィーク中だったので、近場で人混みのない所へと思い、家から2時間半ぐらいで行ける岐阜県、ひるがの高原にある牧歌の里という所へ家族と一緒に出かけました。

現地は、この冬の寒さで、平年なら咲いているはずのチューリップなどの花が全然咲いておらず大変寂しかったです。でも牧場の方は、逆に賑やかで牛の乳搾りや乗馬などに人が群がり、なかなか順番が回って来ませんでした。後、羊の餌付けも体験し、柵の中に入った途端、餌に群がって来る様は、奈良公園にいる鹿を思い出しました。羊は、角が無いだけ安全ですけどね。

しかし、連休中だけあって昼ごはんを買うのもお土産を買うのも長蛇の列で、大変な思いをしました。人混みを避けるために人里の離れた所にやって来たのに予想外で疲れましたが、ただ子供達が喜んでくれたので良かったかなと思っています。



植田 泰樹

自動車の点検

春になって過ごしやすい季節になりました。突然ですが、自動車の点検をしていますか？
最近の自動車は、性能も良くなって壊れにくくなってきていますが、それでも定期的に点検しないと壊れてしまうものです。

点検するにあたって重要なのは、空気圧の点検、タイヤのナットの緩み、バッテリー液の量、エンジンオイルの量、ファンベルトの緩み、冷却水の量、ブレーキ液の量、パワーステアリングの液の量等、オイルや油脂類も規定の位置まで入っているかチェックして見て下さい。

それに加えて電気回り、ブレーキ灯やウィンカー、ハザード、ヘッドライトなども点検して下さい。これだけの事ででも事故や故障する確率を減らすことが出来るので、ぜひご自分の愛車を点検して見て下さい。

整備工場 谷口 学

いつもありがとうございます。皆様のゴールデンウィークはいかがでしたでしょうか。お仕事の方、旅行に行かれた方など案外いつもよりのんびりではなく、忙しい日々を送っていたのではないのでしょうか。

私といえば、下の子供は遠征でずっといなかったのですが、何と上の子が帰って（春休みにいたばかりなのに予想外・・・）来たので何やかんやと忙しかったです。その上どこにも行けず、家で主人と掃除をしていただけで、年末の大掃除より一生懸命やる羽目になりました。

来年こそは、計画を立ててどこか遠出をしてみたいな～と思っていますが、日頃子供の応援で案外あちこちに出掛けているので、ゴールデンウィークぐらい家でじっとしている方がいいかも知れませんね。（今年インターハイに行けたら、宮古島なんですよ！行きたいな・・・）

皆様もやっと休み疲れが取れ、仕事も軌道にのったところではないかと思います。今年は、寒かったり暑かったりと体調管理が大変ですが、くれぐれも体調を崩さないよう気をつけて下さい。

吉川 佳代



次回お楽しみに・・・